

布佐台地区集落座談会 会議録

1. 会議名称 布佐台地区集落座談会
2. 開催日時 平成 27 年 3 月 24 日（火）午後 2 時から午後 3 時 30 分まで
3. 開催場所 布佐台自治会集会所
4. 会議に出席した者の氏名

農業者	10 名
新規就農者	1 名
農業委員	1 名
農業委員会事務局	1 名
農政課	2 名

5. 協議区域の範囲 布佐台集落（主に谷ツ山から江藏地地区）
6. 議題

テーマ「今後の布佐台地区の農業のあり方について」

- (1) 人・農地プラン策定による事業の活用について
- (2) 農地中間管理機構による協力金の活用について
- (3) 多面的機能支払制度について
- (4) ナラシ対策について
- (5) その他

7. 協議結果を取りまとめた年月日 平成 27 年 3 月 27 日（金）
8. 会議の内容

農政課から、人・農地プラン策定事業として集落座談会開催の趣旨を説明した。

続いて、我孫子市と布佐台地区の農業の現状（農業者の高齢化や耕作放棄地の増加等）、及び布佐台地区の「人と農地の問題を解決する」ための諸施策について、以下説明と問題提起を行った。

- ・ 新規就農者を紹介し、規模拡大及び新規就農予定者への農地の斡旋も含めた支援等の確認を行なった。
- ・ 「人・農地プラン」は地区ごとに作成することが望ましく、このプランを充実させていくためには、市内の各集落における継続的な話し合いが必要である。
- ・ 集落営農組織の法人化への推進について説明を行った。
- ・ 後継者の育成、農地中間管理事業の活用及び集積協力金について説明を行った。
- ・ 集落で農地整備等を行い、交付を受ける多面的機能支払いについて説明を行った。
- ・ 米価下落対策としてナラシ対策の概要について説明を行った。

農政課の説明と問題提起を受けた後の主な質疑応答は次のとおり。

農業者：田圃は昭和 40 年代に土地改良をやって、用水を手賀沼から取るようになっていたのだが全域には用水が来ない。そこで 4 町歩あたり 1 本の井戸を掘り、手賀沼が汚いときにも優良な米を作ってきた。今は後継者がいないので集団化は難しい。干拓地区なら何とかできるかもしれない。畑は国道 356 号線沿いで条件がいい。ただし、家屋が点在しているので、こちらも集団化は難しい。

農政課：他の地区では 20 代、30 代の後継者が集まって集落座談会のような集まりを行っているところもあるが布佐台地区はそういったことはあるか。

農業者：30 代、40 代の後継者はいない。作っても販路がない。市場を作ってくれないと。販路が見つからない。

農業者：集落的に畑を提供して大豆とか小麦ならば周りに民家があっても作付できると思う。布佐台にもかなり遊休農地がある。

農政課：新規就農者へ農地を集積する方法もある。新規就農はかなり相談があるので農地を紹介していただきたいと思う。

農業者：自分の農地には愛着がある。おいそれと人に貸すには抵抗がある。

農政課：もう一つの手段として市外の農業者へ集積する方法がある。しかし、できれば地元の農業者へ集積を図ればとは思っている。

農業者：次の時代はどの地区でも農業離れが多いと思う。

農政課：できれば次の芽を育てていきたい。

新規就農者：規模拡大は考えているが、販路を確保するのが難しい。

農政課：市場は安くはなるが必ず買い取ってくれる。個人では価格は決められるが売れた分しか儲けがない。インターネットを活用する等の手段もあったり開拓精神を持って取り組んでいかないと後継者といってもなかなか手が上がらない。

農業者：水の館には直売所ができると聞いているが。

農政課：水の館は県から無償で土地と建物を譲り受ける。さらに県から負担金として2.4億円もらい、補修をかける。中には農業拠点施設として、1階に直売所と農産物を加工して提供する飲食店の配置を企画している。うまく活用してほしい。

農業者：家賃は払わなくていいのか。

農政課：水光熱費は負担してもらおう。農業振興の施設であり、当面は家賃を考えていない。収益が出てきたときに協議する予定である。

農業者：私たちも参加できるのか。

農政課：後ほど公募する予定である。農業振興策として考えているのでできるだけ参加してほしい。

農業者：近くに道の駅がある。よっぽど頑張らないと。

農政課：両方行きたくなるような経営を目指してほしい。

農政課：放射能の問題でかなり出荷が落ちた経緯もある。たけのこはまだ出荷できていない。

農業者：どういう検査をしているのか。

農政課：平成26年度は市内全域から50検体を抽出し、検査した。みな基準値以下であるが、安定して低い値ではなく解除にならない。平成27年度も50検体の検査を行う予定だ。学校給食に出す野菜は逐一検査しているが検出せずだ。

農政課：今日はスタートしたばかりなので、これからこの農地をどう有効に活用し、かつ担い手の育成していくのか、地域でも知恵を出していただければと思う。